

令和 3 年 第 3 回
上小阿仁村議会定例会

会 議 録

令和 3 年 6 月 8 日 (開会)

令和 3 年 6 月 10 日 (閉会)

○議長（伊藤敏夫） 再開します。

○議長（伊藤敏夫） 次に、5番 萩野芳紀君の発言を許します。はい、萩野芳紀君。

（5番 萩野芳紀議員 一般質問席登壇）

○5番（萩野芳紀） それでは質問いたします。今回は村を美しく、きれいな村にしたいということで、美しい村づくりということで質問させていただきます。

前回の選挙において、対立候補は美しく、という言葉で移住、空き家、関係人口のサポートチームを訴えていました。もちろん村長も同じように、空き家対策等を訴えていましたが、ここに美しい村の一言が欲しかったと思います。訴えていたのは内面的な部分でありますけれども、私が今日質問するのは、外面的な部分で言います。安倍前首相も就任当時は、美しい国、日本を呼びかけていたのは記憶にあると思います。そこでまず、村の美化について、特に美観という意味を含めて、景観がよくなるように質問いたします。

村長は、観光面に力を入れたいということですが、村内にはコブ杉、五反沢大滝、山ふじ温泉などあり、見るべき場所の少ない上小阿仁においては、来村された方に村の印象を植え付ける良き場所です。しかし、福館地区の木工組合跡の屋根が徐々につぶれてきています。人が立ち入る場所ではありませんが、美観という意味では非常に見苦しいと、いろいろな方々に言われています。また、沖田面の信号前にある空き家については、空き家対策としても、以前から何度も指摘していますが、最近は誰が見ても危険と思えるような状態になっています。これらの建物を放置しておくのでしょうか。村として何らかの対策が必要ではないのでしょうか。先ごろ、杉花地区の小阿仁川沿いの雑木は伐採され、すっきりして、新しくなった橋とともに美観という意味においては喜ばしい限りです。特にあの辺は、すごく村が広がったように感じます。観光を重視するならば、来村された方の印象をよくする意味においても、人が集まる環境整備について、村長の考えをお聞きします。

○議長（伊藤敏夫） はい、小林村長。

（小林悦次村長 登壇）

○村長（小林悦次） 美しい村づくりについてというふうなことで、福館地区、沖田面地区の件、そして、人が集まる環境整備についての、村長の考えというふうなことにつきまして、対応させていただきたいというふうに思います。

村では、集落の情報を基に、空家等対策検討委員会を設置しまして、危険状態の確認や指導、助言をしております。昨年度においても、適正な管理を促して、解体補助金制度を助言することによりまして、2件の対象物件を解消する

ことができております。福館地区、沖田面地区の案件や対象となりうる物件には、税金がかかり続けることや解体補助金制度を伝えながら、所有者、権利者に管理責任があることを促し、指導・助言をさせていただいております。また、今定例会におきましては、山ふじ温泉を利用する方の安全対策として、街灯整備の予算を計上させていただいているほか、利便性を図るための案内板の設置も検討しているところがございます。村内を訪れる方々が、「安心・安全で来てよかった」と思えるような対応につきまして引き続き、環境整備に努めてまいりますので、よろしくご理解をいただきたいというふうに思います。

○議長（伊藤敏夫） はい、萩野芳紀君。

○5番（萩野芳紀） ありがとうございます。今のように、村の景観という意味で、観光面からも村を美しく、きれいな村にさせていただくのは、私たち村民全員の願いですので、是非とも、よろしく願います。

もう1点ですが、これは通告に入れていないので、回答はいいませんが、聞いておいてほしいことがあります。実は、村内を廻っていたら、住民の方々から、いろんなことを言われました。それは、まず一つは国道、県道、村道でみる、車にひかれた犬や猫、獣の死がいの処理。これを見て、なかなか手を出す人はいないんです。これともう一つは、これから増えてくるハチの巣、スズメバチ。これが大きくなったやつ。これは、どこに相談したらよいかわからない村民の方がかなり多いです。わかっている方もいらっしやると思います。住民から役場に電話したら、的確な返事が出せる職員の方は、個人差はあるでしょうが、そう言われていますので、この辺のところも村の美化という意味では、犬の死がいなども反するものですので、広報に掲載するとかですね、こういう面をお願いしたい。それと、もう一つだけ考えて欲しいのは、その美観と言う意味で、ここに農協の倉庫もあります。農協の倉庫もどう見ても、美観という意味では、いけないと思います。それと、最後にもう一つだけお願いしますが、ローソン前のバス停ですが、夏になると、つたが絡んできます。これも景観としては、あまり良くない。このようなことで、ここ、通告はしていませんが、これらのことも念頭に入れていただきたいと思います。よろしく願います。

これで、私の1つ目の質問を終わります。

○議長（伊藤敏夫） はい、萩野芳紀君。

○5番（萩野芳紀） 次は、大雨の対策について、質問いたします。

最近の災害は、雨が原因の場合が大きなウェートを占めています。更に、梅雨入りも早くなっているように感じています。今年は、四国や近畿地方は観測史上最も早い梅雨入りとなりました。本県を含む東北北部は、6月15日ごろ、梅雨入りの見通しです。梅雨になると河川の増水、農作物への被害が予想

され、梅雨の末期は大雨になりやすいと言われていています。大雨の被害に注意しておかなければいけないと思います。5月には小阿仁川の雑木も伐採され、きれいになりましたが、堆積した土砂も多く、川幅が狭くなっているのが目立ってきました。その他、杉花橋が改修され、新しくなったように、きれいに感じますが、路面は以前のままです。これも本当は直してほしかったです。その杉花橋の下流は、土砂の堆積が多くなっており、大雨の時には堤防を超えて、決壊につながるのではないかと心配しております。ここ数年、雨はありませんが、現に何回か決壊しております。県に堤防のかさ上げをお願いしても、返事は決まって、「下流から」との回答しかありません。かさ上げが無理なら、その予防策としては、洲ざらいをお願いしたいと思っております。川幅が広がれば、決壊の可能性は低くなるのではないのでしょうか。特に小阿仁川下流の大阿瀬、羽立、堂川地区は水の多い場所ですので、県への要望をお願いします。

また、ハザードマップの配布が遅れています。いろいろな事情もあるでしょうが、災害は私たちの事情は待ってくれません。至急の配布をお願いします。

村長、答弁をよろしく申し上げます。

○議長（伊藤敏夫） はい、小林村長。

（小林悦次村長 登壇）

○村長（小林悦次） 大雨対策につきまして、小阿仁川の対応、それからハザードマップの関係につきまして、答弁をさせていただきたいというふうに思います。

小阿仁川の関係につきましては、北秋田地域振興局が実施している小阿仁川の作業について、杉花橋から下流、杉山田と長信田間の橋までを範囲として、7月上旬までの予定で雑木の伐採と処分が進められております。小阿仁川の雑木処理等は、ご発言のとおり大雨時の洪水被害の防止に向け、これまで村や小阿仁川水系対策委員会等から、雑木の処分や土砂の撤去の要望を続けてきたところであり、今年度、振興局に対応していただいたものであります。まだ、作業の途中ではありますが、国道の見通しもよくなり、交通安全の面でも効果があるのではないかと考えております。残念ながら杉花橋下流の今年度の作業には、土砂の撤去が入っていないようでありますので、今後、土砂の撤去も含めて進めていただくように、村から振興局に要望するとともに、小阿仁川水系対策委員会からも要望していただくよう働きかけてまいります。

また、ハザードマップの件についてでありますけれども、これにつきましては、配布につきまして、大変遅れて申し訳なく思っております。今月の2日から集落の役員や自主防災会の方々を対象に説明会を開かせていただきながら、配布をさせていただいておりますので、もうしばらく、全集落へは時間がかかるわけですが、早急に対応してまいりますので、よろしく願い申

上げたいというふうに思います。

○議長（伊藤敏夫） はい、萩野芳紀君。

○5番（萩野芳紀） 最後に、今おっしゃいましたハザードマップですけども、先ほど、私もお話したとおり、災害は待ってけませんので、少しでも、コロナ対策と同じような、至急の対策をお願いいたしまして、これで私の質問を終わります。

○議長（伊藤敏夫） 暫時休憩します。